

神郷校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成22年8月2日(月) 19:00~21:00
場 所 神郷公民館
参加者数 男 72人 女 9人 合計 81人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名(地域福祉について「神郷幼稚園余裕教室の有効活用」)

(討議内容)

- ・神郷幼稚園の今後と余裕教室の有効利活用について

(回答 市長)

- ・現時点では市立幼稚園を無くすことは考えていない。
- ・余裕教室はあります。(11月以降)
- ・地域からの働きかけがあれば、3世代交流など様々な地域活動に使うことは可能です。
- ・施設の改修については、教室の利用頻度が上がってくれば考えます。

2. 地域課題

課題名（ 浸水対策等について ）

（討議内容）

- ①松神子地区の下水道整備について
- ②長岩遊水池の対策の推進について
- ③神郷校区の雨水対策及び公共下水道認可区域の拡大について

（回答 市長 下水道建設課長）

- ①航空写真、地図等により整備状況を説明
- ②遊水地は県の管理区域です。前年度は約800m³ 浚渫しました。平成22年度～平成23年度で約3,200m³ の撤去を予定しています。
江の口雨水ポンプ場の排水管の延長について検討した結果、コスト面（排水管設置に約20億円、ポンプ場設備に約40億円、計60億円が必要）及び、県の管理区域に排水管を設置することが難しく、実現が困難なことを説明した。
対策としては堤防のかさ上げで対応したいこと、施設管理者である愛媛県に対し予算要望のための資料を提出することを説明した。
なお、愛媛県による事業実施が難しければ市独自に対応を考えると説明した。
- ③認可区域の変更は平成22年度～23年度で予定しており、現時点で新たに認可区域に含める地区は決定していない。
認可区域に追加する地区としては、面積的には約240haを考えており、原則として⑦全体計画区域に含まれること、④人口集中地区であること、⑤整備済み地区に隣接し効率的に整備を進めることが可能な地区であることとしている。現在、検討中であるが、角野地区、松神子地区、宇高地区は認可区域に追加することを検討する地区になると思う。その他、白井地区の排水管工事について説明を行う。

課題名（ 交通安全対策と信号機の設置について ）

（討議内容）

県道多喜浜泉川線の整備に伴い、通行車両が増加し、走行スピードも上がっている。そこで、一梅酢前、神野石油前、下郷自治会館前、又野泉石油前に信号機を設置してほしい。

（回答 市長）

一梅酢前を除き新居浜警察署に要望しています。一梅酢前は次年度の要望になります。信号機の新設は県下全体で年10箇所という時期もあり、なかなか設置が進まない状況です。地元として信号機設置の優先順位をつけてほしい。それをふまえて要望していくことを説明。

課題名（ 神郷公民館及び神郷小学校グラウンドへの進入路となる市道の整備について ）

(討議内容)

県道多喜浜泉川線から公民館、グラウンドへの進入路となる市道の幅員が狭小で離合が困難であるため、拡幅整備をしてほしい。

(回答 市長)

神郷小学校側（小学校用地）を提供することは可能です。ただし、敷地内に借地があるため、道路を拡幅するためには条件整備が必要です。

そのため、拡幅する時期は未定ですが、まず条件整備が可能かどうか調査を進めます。

課題名（ 神郷公園の整備について ）

(討議内容)

今後の神郷公園の整備予定や方針について方針を伺いたい。

(回答 市長)

前年度までは川東公園でしたが、今年度からは神郷公園と呼称しています。校区に公園が必要であることは認識しています。

本公園の整備に取り組むため、地元協議会を設置していただきました。

今年度に場所の合意形成ができれば前向きに進み、平成25年の完成の可能性もありますが、公園整備には多額の経費がかかります。そのため、公園整備には国の交付金（補助金）が必要です。

そのため、公園整備を最優先に、地元合意、財源の確保を合わせて取り組みを進めています。

課題名（ 河川の放流について ）

(討議内容)

郷地区連絡協議会は、上郷、中郷、散田、下郷、白井、白井住宅、落神の7自治会で構成されています。

郷地区の水路は、浄化槽から排出される汚水のため、渇水期に臭いが酷い。このため、土地改良区管理しているポンプを運転して水を放流してほしい。

(回答 市長)

この場合のポンプの運転は本来の目的とは異なりますが、土地改良区と費用・操作・人員の問題をふまえると、難しいと考えています。

国領川の取水については、吉岡泉土地改良区に協議及び協力をお願いしています。